

# 隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第37回

森の彫刻家 上床利秋

## 中村哲医師を悼む

日本には村八分という言葉が残っているが、この言葉の残り二部が火事と葬儀であることは日本人ならば、少なくとも還暦を迎えた識者ならば誰もがご存じのはず。田中角栄元総理も、葬儀には駆けつけて断られることがないと自伝に書かれていたことを思い出す。

先日の中村哲医師銃撃事件の衝撃は、日本のみならず世界中の良心ある人々の心に穴をあけた。それは絶対にあつてはならないことだった。テレビはそれまでの医師の功績を讃え、そしてアフガン農民の慙愧の念に耐えない思いをアナウンサーが代弁していた。12月13日の時点では、犯人は誰なのか、意味するものは何だったのかは分かっていないので私の心もただただ悲しくてやるせなくて中村氏のご冥福を祈るしかなかった。

アフガン国民栄誉賞を中村氏に授与したガニ大統領もまた、心中を思ふとお気の毒でならない。反体勢力を刺激してしまい、それが銃撃事件の引き金になったと言われているからだ。遺体を安置した棺はアフガンの国旗でくるまれて、ガニ大統領自身が直接担いで飛行機に運ぶという最高級の儀礼で中村哲氏への感謝の気持ちを表していた。その儀式の最後には遺族の中村家未亡人とお嬢様が「大変お世話になりました」といふ、何とも皮肉にも思えないこともないような、ある意味大変

重要な日本的な御礼の言葉を述べて飛行機で帰ってくる様子をテレビは伝えていた。

迎える日本は白い布にくるまれた棺が飛行機からトーンングトラックターに移されて荷物を運ぶように移動されて、係職員が敬礼してその行方を見守っていたが、そこに日本の要人の姿は紹介されていなかった



銃撃事件の数日後には、アフガンの民間航空機の国際線垂直尾翼には哀悼の意を込めて、中村哲氏の肖像が描かれた。

とが唯一私の記憶に留まっている。これが小泉純一郎元総理が現職ならばどう動いていただろうか。

平和のために戦うというアメリカ力は思いやり予算を4倍に増やす要求を日本にしたとかしないとか。かつて中村哲氏はアメリカの武力鎮圧に対して否定的だった。学校というところで生活していた私は、生徒の悪を教師のげんこつで浄化できないことを知っている。そこに反省する心は芽生えずに、恨みを忘れない憎悪の心だけがげんこつの後

に植えつけられる。中村氏の、とも汗を流して生きる環境を広げることこそが正しい生き方である。私は信じたい。アフガン

た。代わりにテレビは日本在住のアフガン人が遠くからそれを見守り、集まっていた姿を伝えていた。兵士が戦場で銃撃されたわけではないのだが、政府はあまりにも功績の大きい氏への思いやりを示すべきではなかったのかと私は思う。誕生日を迎えた雅子皇后が談話の中で中村氏を悼む話を聞くことができたこ

の人々にとって中村哲氏の死は現代の聖人の殉死にも値するものである。やがて時が経ち自分もこの世にいない頃、アフガンが平和で世界の小学校の教科書には彼の名が記されていることを祈っている。

翻って日本の政治を思う時、桜を見る会の言い訳に終始することで国会は時間を潰し、それでもこの冬

総理は430万円を超えるボーナスをもらうというニュースをラジオは語っていた。

正しい人が銃撃されてはいけない。先人の築いた平和な時代に胡坐をかいて、自分だけが暖かい環境で金儲けすることが生きる意味ではないことを、側近は哲してほしいものである。

日展会員 第一幼児教育短期大学 教授

この森のアトリエで彫刻を共に作ってみませんか

ホームページ刷新しました。

<https://douzou.jp/>

上床利秋

検索

このページのバックナンバーも読むことができます。

## レモン画材絵画教室 **ご案内**

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室  
②13:30～
- 月1回第2木曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室

★ingミニセミナー〈POP文字・筆文字・絵手紙など〉チラシ等で随時ご案内致します。

お申し込みは TEL 0995-45-1015 国分進行堂・レモン画材まで